

平成28年11月1日

市長記者会見資料

平成28年度かわさきマイスター認定者発表について

「かわさきマイスター」については、今年度、15名の応募があり、かわさきマイスター選考委員会での審議の結果、5名を新たに認定します。

「かわさきマイスター」は、極めて優れた技術・技能で本市産業の発展や市民の生活の向上に御尽力いただいていると共に、後継者や若手の指導にも熱心な現役の職人の方々に市内最高峰の匠として贈る称号で、平成9年度から認定しています。

* マイスターとは、ドイツ語で「名人」「親方」を意味します。

1 平成28年度かわさきマイスター認定者

- (1) 井 武敏 氏 (プラント設備仕上)
- (2) 鈴木 克明 氏 (写真師)
- (3) 高橋 信美 氏 (バネ製造)
- (4) 秦 義光 氏 (製缶板金技能)
- (5) 宮永 典隆 氏 (ケーブル接続技術)

※今年度の方々を加えると、69職種91名の方々が認定者となります。

2 配付資料

- (1) 平成28年度かわさきマイスター認定者 資料1
- (2) 平成28年度かわさきマイスター認定者技能紹介 資料2

【担当】 川崎市経済労働局労働雇用部技能奨励担当 西留・鈴木

電 話 044-200-2242

FAX 044-200-3598

E-mail 28roudou@city.kawasaki.jp

平成 28 年度かわさきマイスター認定者

(敬称略・五十音順)

氏名	年齢	職種	従事年数	居住地	勤務先・役職・住所	推薦人
井 武敏	68	プラント設備 仕上	42	川崎区 鋼管通	山九重機工 株式会社 (川崎区塩浜)	山九重機工株式会社 代表取締役 黒田 二郎
鈴木 克明	72	写真師	51	高津区溝口	株式会社 写真のたなかや (高津区溝口)	川崎市技能職団体連絡協議会 会長 都倉 正明
高橋 信美	75	バネ製造	60	大田区 南雪が谷	相互発條 株式会社 (麻生区栗木)	相互発條株式会社 代表取締役 岸 俊之
秦 義光	71	製缶板金 技能	54	幸区東小倉	恒心鉄工 株式会社 (川崎区浅野町)	浅野町工業団地組合連絡協議会 会長 吉田 基一
宮永 典隆	69	ケーブル接続 技術	50	高座郡寒川町 一ノ宮	国際ケーブル・シップ 株式会社 (川崎区駅前本町)	国際ケーブル・シップ株式会社 取締役技術部長 藤井 幸弘

※ かわさきマイスター認定式は平成 28 年 11 月 16 日 (水) に実施します。

- ・時間 14 時 00 分～15 時 30 分
- ・場所 川崎市立労働会館 (サンピアンかわさき) 大ホール
(川崎市川崎区富士見 2-5-2)

※ 年齢及び従事年数は認定日 (平成 28 年 11 月 16 日) を基準としています。

1 井 武敏 (いい たけとし) さん

- (1) 生年月日 昭和23年6月14日 (満68歳)
- (2) 職 種 プラント設備仕上
- (3) 従事年数 42年
- (4) 山九重機工株式会社 機工部 京浜グループ (川崎区塩浜) 嘱託
- (5) 居住地 川崎区鋼管通



井さんは、工場・発電所の大型かつ超重量級の機械設備の据付けや接続に際して、その傾きなどの誤差が1mm以内となるよう水平出し（機械設備の傾きを調整し水平にする作業）・芯出し（回転する軸などをつなぎ合わせる時に、両方の回転軸が同一となるようにする作業）など仕上作業を行う技術者です。

井さんは、湯浅組（現 山九重機工株式会社）に入社し、重機を扱う仕事をしていましたが、当時の先輩から自動車のハンドルの接続部分の誤差が動作に大きく影響することを教えられたことがきっかけで芯出し作業に興味を持ち、主要業務として現在も続けています。

芯出しは、機器から機器に動力を伝達するため、回転軸同士を正確に結合させる作業です。1度の傾きは10m先で約180mmの差を生じさせますが、井さんは注文に応じてこの差を1mm以下となるよう調整することができます。ダイヤルゲージを用いて誤差を測定し、設置する機械の設置面との間にライナーと呼ばれる金属製の下敷きを挿入するなどして、その機械の数メートル或いは数十メートル先の傾きを判断して調整しています。また、この作業には繊細さが要求される分、それだけの時間を要してしまうものですが、これまでの経験と知識を活かして、通常2日間の工程を4時間で完了させてしまう程の技量を持っています。

治工具仕上げ作業の分野で一級の仕上げ技能士であり、平成27年度には、国内で年間150人しか認定されない国の制度である「現代の名工」に認定されています。

井さんは、「みんなのおじいちゃんと同じくらいの歳だし、おじいちゃんと思ってなんでも相談してくれ。年寄りの意見も役に立つこともあるから。」といった気さくな声掛けにより若手社員とのコミュニケーションを大切にするよう心がけ、日常的に自身の経験・ノウハウを積極的に若手社員へと伝えるよう努めているほか、社内で行う訓練学校の講師も務めるなど、技能伝承・後継者育成に尽力しているマイスターです。



2 鈴木 克明（すずき かつあき）さん

- (1) 生年月日 昭和19年8月7日（満72歳）
- (2) 職 種 写真師
- (3) 従事年数 51年
- (4) 株式会社写真のたなかや（高津区溝口）代表取締役
- (5) 居住地 高津区溝口



鈴木さんは、被写体となった人の良さを引出しつつできるだけ自然のままの写真の撮影に取り組む写真師です。

鈴木さんは、東京写真短期大学（現 東京工芸大学）において修整技術を学び、在学中からお店の手伝いをしていました。その中で、ネガフィルムに修整ニスをぬり、拡大鏡を見ながら細く尖らせた鉛筆で暗部等を補正するといった写真の修整技術を身に付けました。

鈴木さんは、一級肖像写真技能士（フィルムの部）の資格をお持ちですが、時代の流れによりデジタルが主流になると一級デジタル肖像写真技能士の資格を改めて取得されるなど技術の向上に努め、高度な写真の修整技術を手に入れてきた方です。

通常の写真においては、被写体の体型、顔立ち、性格等を感じ観察して、その方の良さを引出して撮影し、仕上がった写真が一生大切にしてもらえそうなものになるように心がけています。撮影の際には、事前に撮影される方にアンケートを行い、緊張などせずにより自然な表情が出るような工夫を行い、できるだけ修整を必要としない自然のままの写真が撮影できるように努めています。

現在「写真のたなかや」では、写真館として主要な業務であるスタジオでの家族写真・婚礼写真等の撮影以外に、学校・幼稚園の卒業アルバムの写真撮影やビデオ撮影、など幅広く事業を展開していますが、特に、日頃の工夫やより良い自然な表情の証明写真が評判を集めて多くのメディアに取り上げられたことなどから、証明写真の撮影だけで年間4000名を超える方が訪れるほどになっています。

これまでに厚労省の国家技能試験の検定員を務めるとともに、中学校、高等学校のインターンシップを毎年受け入れるなどの活動を続けています。

町の写真館が、姿を消していく中、鈴木さんは30名の従業員を抱え、御子息をはじめとした若手に対し、撮影や修整技術、写真作成技術の伝承に心を砕きつつ、また、写真館全体の技術向上を図り、写真館という業態の存続にも尽力するマイスターです。



3 高橋 信美（たかはし のぶみ）さん

- (1) 生年月日 昭和16年2月26日（満75歳）
- (2) 職 種 バネ製造
- (3) 従事年数 60年
- (4) 相互発條株式会社（麻生区栗木）指導役
- (5) 居住地 大田区南雪が谷



高橋さんは、豊富な経験と発想で他者の追随を許さない高精度のバネを製造する技術者です。

中学卒業後の昭和31年に相互発條株式会社への入社以来60年間、相互発條でのバネ製造一筋で取り組み、指先一つでバネの巻き数を変えられる程、その技を極めていきます。

入社以来、日々独学で金属の特性などを学び、バネの成形加工での試行錯誤を重ねて、バネの成形技術や成形のための治具類の構想・製作技術を身につけてきました。高橋さんのバネ成形技術は、手による加工で自在に正確にコイルを巻くことでスプリングを形成できるというもので、まさに神業とも言えます。機械に頼るものでもなく加熱も行わずに試作することができます。

太い材料を用いた大型で重量のあるバネから、針金のような細かい材料を用いた小型で繊細なバネまで、高橋さんは、それらのバネの種類に応じた異なる加工工程を一人で行うことができ、注文先の厳しい仕様を満たすための調整においては、目視だけで方法を判断できる程に高度な技術を保持しています。さらに、注文先から提示された設計図には記載されていない、バネの成形の際に必要なとなる治具の構想や製作についても一人で行い、製作時間の短縮を可能にしました。また、新規バネの仕様について見解を述べるなど、顧客から高い信頼を得ています。

特筆すべきは、高橋さんの技術・技能・知識が、非常に厳しい基準を持つ航空・宇宙産業で使用されるバネの製造において、品質を満たしていることです。その高水準のバネは、ボーイング社等の民間旅客機や純国産ロケット等に搭載されています。相互発條株式会社が、国内バネメーカーで第一号となった JISQ9100 の取得、Nadcap（ナダキャップ）という航空産業における国際的な認証制度を、国内のバネメーカーで唯一取得できたのも、高橋さんの技術が基礎になったと同社の方々が認めています。また、その高い技術は、水素自動車の燃料タンク用スプリングや医療用カテーテルといった、身近な製品にも活かされ会社を支えています。

このような高い技術を備えている高橋さんですが、75歳となった現在でも現場の第一線で活躍し、積極的に若手と関わり、自らの持つバネ製造・治具製作でのノウハウを若手へ継承しようと尽力し、また、常に新しいものに挑戦しようという姿勢を崩さないマイスターです。



4 秦 義光 (はた よしみつ) さん

- (1) 生年月日 昭和20年6月12日 (満71歳)
- (2) 職 種 製缶板金技能
- (3) 従事年数 54年
- (4) 恒心鉄工株式会社 (川崎区浅野町) 代表取締役
- (5) 居住地 幸区東小倉



秦さんは、短時間で高精度な製造ができるよう工夫で企業から信頼を集め、若手技能者の積極的な育成に心を砕く技術者です。

ものづくりに強い好奇心があり、どんなことでも覚えようと積極的に取り組み、溶接、板金、製缶の技術を身に付けました。人一倍早くものを覚えようと努力を続けることで、通常半分の時間で製品を完成させる程に技を磨き上げ、昭和48年に独立して、恒心鉄工株式会社を起業しました。

秦さんは、溶接で発生する熱による歪みや曲がりが出ないように、結合する部材を水に入れて溶接するなどの工夫を凝らしています。短時間で完成するように心がけながらも、高精度の製品を製作することで企業から信頼を集め、東京電力、JR、東芝機械などの大企業からの受注もできるようになりました。一品物試作から始まりリピート生産を行うことでコンスタントな仕事量を確保しています。

長男が専務として第一線の技能を担い、長女がCADによる設計を行い、長女の夫が現場の作業に当たっています。家族をあげて会社の経営に携わるほど円滑な関係を築いています。

現在会社では社員寮の整備を行い、鹿児島・沖縄・青森など地方からの採用に積極的に取り組んでいます。秦さんは代表取締役ですが、他の技術者と一緒に第一線に立ち製品を製作するとともに、検査した製品の修正を行っています。また、後進への技術・技能の伝承に尽力し、社員に資格を取らせることが重要と考え指導しています。また、社員寮では自ら社員のために食事を準備するなど、社員を非常に大切にしています。

若手社員の育成に心血を注ぎ、既に高校のインターンシップを受け入れてきましたが、更に工場見学やインターンシップ受け入れに積極的に取り組むことで、社会や若手技能者の一層の技能発展に貢献していきたいと考える熱い心のマイスターです。



5 宮永 典隆（みやなが のりたか）さん

- (1) 生年月日 昭和22年10月20日（満69歳）
- (2) 職 種 ケーブル接続技術
- (3) 従事年数 50年
- (4) 国際ケーブル・シップ株式会社 営業部 課長
- (5) 居住地 高座郡寒川町一ノ宮



宮永さんは、大海の船上にいながら数ミクロン単位の光ファイバ海底ケーブルの接続という繊細な作業を正確にこなし世界の通信を支える技術者です。

光ファイバが主となる以前は、同軸海底ケーブルの製造・接続・機器の開発等を担当し、国内外の多くのプロジェクトに参加し、敷設・接続等の工事を行っていました。時代がより多くの情報通信量を求め、同軸海底ケーブルから光海底ケーブルへと移行していく中で、宮永さんは、その光海底ケーブルの接続機器の開発に携わり、敷設工事・接続修復作業等にも数多く関わることになりました。5年前の東日本大震災発生時には、東日本の太平洋側の光海底ケーブルが多数破損したため、その復旧作業にも従事しています。

光ファイバが導入された当初、光ファイバの接続においては全てが手作業で、光ファイバの皮膜を硫酸で除去し、髪の毛程の太さの光ファイバを寸分たがわず直角に切断するなど、危険と時間を要するものでした。現在では、皮膜の除去や切断等には、専用の機器が使用されるようになりましたが、宮永さんは同軸海底ケーブル時代に培った船上という特殊環境でのケーブル敷設・接続作業の経験を活かし、洋上での光海底ケーブル及び光ファイバの接続技術開発に大きく貢献してきました。損傷したり切断されたりしたケーブルを引き上げた後、船上でケーブルを解体し、線を露出して端末処理した上、相互に突き合わせて光ファイバの接続と被覆・収納を施し、エックス線検査で接続を確認してから、金属とゴム等による保護と組み立てを行うという多岐にわたる工程が必要です。これら一連の作業を指揮してきました。

現在、洋上での接続作業は後進に譲り、出番は少なくなっていますが、地上での接続作業では、なお現役で第一線を担っています。更に、世界で4ヶ所しかなく日本にただ1つの海底ケーブル接続技術の訓練校において講師等を務め、今までの経験を基に接続機器の選定や接続作業の指導を行っています。

宮永さんは、世界の通信を支える一翼を担い、社内外・国内外を問わず後進の育成指導を行い、自身の技術の伝承に積極的なマイスターです。

